

## 「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市小倉北区熊本二丁目10番10号

団体名 株式会社ウチヤマホールディングス

代表者 代表取締役 山本 武博

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

## 団体概要

(ふりがな)	カブシキガイシャ ウチヤマホールディングス	
団体名	株式会社ウチヤマホールディングス	
(ふりがな)	ヤマモト タケヒロ	
代表者氏名	山本 武博	
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 熊本二丁目10番10号
	主たる事業所	
事業概要	子会社の運営管理	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	サービス業（他に分類されないもの）	
従業員数（企業のみ）	21～50人	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	<a href="http://uchiyama-gr.jp/">http://uchiyama-gr.jp/</a>	

## 連絡先





担当部署	総務部
担当者	川上 哲緒
電話番号	093-551-0002
メールアドレス	<a href="mailto:kawakami@uchiyama-gr.jp">kawakami@uchiyama-gr.jp</a>

## 提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

## SDGs達成に向けた取組状況(チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					<b>■グリーン電力の購入</b> ・子会社事業所への太陽光発電設置、風力発電(一部施設)設置、新電力の契約変更、事業所内LED化の推進 ・夏季には各事業所にグリーンカーテン設置、電気使用料削減によるCO2の削減 ・エアコンの適正温度の推進に取り組んでいます。 ・WEB会議の推進による自動車を使った移動の減少	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境(1)②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					<b>■紙使用量の削減</b> ・業務のIT化によるペーパーレスの推進 ・オンライン会議の導入(自動車等の移動に係る大気汚染物質の減少) ・紙票・パンフレット類のWeb化 ・日常業務における両面コピーや裏紙活用・白黒印刷等 ・10日毎の梱卸による食材在庫の廃棄ロス削減 ・賞味期限に近い食材は店内で販促強化またはエリア内で移動し、フードロス削減	ゴール	指標
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境(2)②
3	事業に伴う調達(原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等)について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					<b>■食材への配慮</b> ・①入居者様の熟食減少、②採取量促進による栄養バランス維持・管理、③食を楽しむを目的とした嗜好調査(年4回)や委託調理業者担当者を含めた給食委員会の定期開催 <b>■備品等の調達</b> ・電子発注システムによる食材・備品等の発注および契約業務の電子化 ・お弁当の持ち帰り用にバイオマス素材を配合した袋を使用 ・事務所の複合機にGo2排出量削減を重視した標準消費電力が低い製品を選択 ・備品等においては、中古品の積極的な活用にて使用できるものは、長く大切に使用	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	環境(1)②
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					<b>■産学官連携によるサービスの質の向上</b> ・産学官連携(九州工業大学)による、IoTによる行動圏実証実験および記録の電子化にて、業務効率化の実現を図り、介護業界の更なる発展と介護を運じた社会への貢献 <b>■下限品質の向上</b> ・介護現場における下限品質向上(自立支援・推進マナー・危険予測)に向けて社内キャリアパス制度の体制構築にて、ケアインストラクター制度を導入 ・自社開発のPOSレジシステムを継続的に更新し、キャッシュレス決済などの新技術にも柔軟に対応 ・年に2回、外部事業者による厨房の衛生調査を実施し、衛生管理状況の確認と不備の改善を実施	ゴール	指標
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	環境(1)②
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					<b>■産学官連携による商品開発</b> ・産学官連携(九州大学)との共同研究にて、「生活の質の向上」を目指し、利用者様の思いと、これからの願いを対話中で可視化してツール(ライフマップ)の制作と販売・活用 <b>■社会課題の解決に向けて</b> ・地域住民、民生児童委員、他事業所等と情報共有を図り、福祉に関する課題解決(老老介護、独居高齢者・介護離職等) ・「福岡県子育て応援の店」に登録し、お子様連れに優しいサービスや使いやすいトイレなどの案内をホームページ上に掲載	ゴール	指標
				7.2	9.4	13.3		ゴール9	社会(2)①
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					<b>■働き方の改革</b> ・年間休日の充実化：夏季・冬季・リフレッシュ休暇・8休休暇等の積極的な取得を促進 ・有給休暇取得促進：従来の有給取得促進に加え、新たに「半有給取得制度」を導入 ・10Tやロボット等の積極的な活用(電子カルテ、介護用リフト、特殊機械浴槽、インカム、眠りスキャン、夏守りカメラ等) ・適法な36協定を締結し、所轄労働基準監督署へ提出 ・長時間労働防止のため店舗、エリア、本社単位による労働時間チェック体制の構築	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	経済(2)①
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備等により、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					<b>■ワークライフバランスを重視し、ダイバーシティへの積極的な取り組み</b> ・インドネシア・ジャカルタに職業訓練事業などの合弁会社を設立、現時点で職業訓練校を開設し、介護職だけでなく、多岐に渡る職種を対象に優秀な人材の育成と来日後のフォローを実施 ・多様な人材が活躍(障がい者・高齢者・技能実習生等外国人の雇用)、多様な働き方推進 ・パート、アルバイトなど雇用の形態を問わず、性別、年齢、疾病、障害、国籍、学歴、宗教、支持政党などを理由に差別せず、人物本位、能力本位の採用を実施	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	社会(1)③
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)				<b>■ハラスメント防止への取り組み</b> ・定期的に現場職員を中心にハラスメント、権利擁護、LGBT等をテーマに研修を開催 ・「ハラスメント相談窓口の設置」により、ハラスメントの早期発見と対策の実施(その他、相談専用回線も設置して周知を回っています) <b>■ES調査の実施(お仕事アンケート/年1回程度)</b> ・年1回複数、スタッフアンケート調査及び管理者との個人面談等を実施 ・妊娠、出産、育児休業等に関するハラスメント・セクシャルハラスメント及びパワーハラスメントの防止に関する規程の整備、社内への周知	ゴール	指標	
				5.1、5.4	8.8		8.5	ゴール8	社会(1)②
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)				<b>■健康促進と管理</b> ・職員健康診断、メンタルヘルスチェック、インフルエンザ予防接種(社内補助有り)の実施 <b>■「子ども食堂」を定期的に開催しています(現在コロナにて休止中)</b> <b>■開発途上国の子供達への援助</b> ・チャイルドスポンサーシップ、ラオスでの小学校建設、ウガンダでの元子ども兵の社会復帰支援にて、従業員・利用者様・関係者の皆で取り組みを継続	ゴール	指標	
				3.4	8.8		3.4	ゴール3	社会(3)①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					<b>■人材育成</b> ・入社時の新人研修3日間(内1日は実技研修)をはじめ、現任者研修、外部研修受講、社内事例発表大会の開催、また介護福祉士試験受験対策直前講座の開催、介護初任者研修講座の開催(社外者含む)を実施 ・産学官連携(九州大学)にて、社内認定資格制度(口腔保健衛生指導者・口腔保健衛生管理者)を創設。スキルアップ体制の充実及び大学と共催で市民公開講座にて取り組みを報告 ・トレーナーの指導による0JTを実施 ・中学生、高校生との職場体験の受け入れ	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール8	経済(2)①
							8.2	社会(1)イ	

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のあるゴール・ターゲット	最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					<b>■コンプライアンス委員会・推進会の設置</b> <b>■取引先業者選定時および新入社員に対する反社チェックの実施</b> <b>■内部監査の定期的な実施による法令遵守状況の確認</b> <b>■高齢者・障害者虐待防止法に基づき、各事業所における虐待防止推進員の配置と委員会等の設置</b>	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	経済（2）①
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV（※）などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					<b>■SDGs推進委員会（チーム）の設置</b> <b>・「GLUB SDGs」を設置し、代表取締役社長を委員長とし、社員向けにSDGsに関する社内の取り組みを発信</b> <b>■事業継続計画の策定</b> <b>・全事業所において、BCP（非常災害・感染予防）の策定、また自然災害時非常災害計画等の作成および地域住民参加型の避難訓練等の実施</b> <b>■地域行事への積極的な参加、施設行事への参加等を通じた地域との交流</b> <b>■消火避難訓練及び消防設備の機器点検を定期的に実施</b> <b>■感染症の予防対策ガイドラインの各事業所への掲示および実施</b>	ゴール	指標
				11. b	12. 6	13. 1		ゴール13	社会（2）①
								ターゲット	具体的な取組
							13. 1	社会（2）ア	

※CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）  
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス（経済的な価値）を創出すること。

## SDGs 達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月30日

団体名 株式会社ウチヤマホールディングス

私たちは、SDGs の内容を理解し、SDGs の達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

## ◆ SDGs 達成に向けた取組方針等

弊社の基本理念のもと、人々の喜びを創造することで企業として社会貢献を目指し、あらゆる格差社会の課題解決に向けて取組を推進する。

①企業・組織の枠組みを超えて技術や知識を持ち寄り、新たなサービスを開発する“オープンイノベーション”での取組み・連携推進を図る。

②3要素（経済開発・環境保護・社会的包摂）の調和を常に重要視し、グループ全体での取組を進めていく。

③「サステナブルな未来の実現」に向けて、ESG（非財務情報：環境・社会・企業統治）評価の重要性について、価値観の超一歩化および具体的な行動と情報の開示を行う。

住まいと食、エンターテインメントの分野における安心・安全なサービスの提供を通じて、地域社会における豊かで快適な生活と経済の発展に貢献することを目指します。SDGsの取組を全社的に推進するためにも、多様な人材が活躍できる環境を整備し、社員一人ひとりに対してSDGsの活動の意義や重要性を伝え、考える機会を提供します。

## ◆ SDGs 達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「〇」		SDGs 達成に向けた重点的な取組	指標（KPI） ・ 目標値		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
			※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		
経済	〇	2019、2020年で累計38名の外国人介護技能実習生および外国人介護インターンシップ生の受け入れ実績がありますが、2030年時点で常時200名の外国人介護職員を雇用し、そのうち1%は副施設長以上の管理職として活躍できる環境づくりを目指します。	指標 (KPI)	外国人管理者数	指標
社会	〇		目標値		経済 (2) ②
環境			2030年 (その他の場合) ( )年	2名	
経済	〇	女性が活躍できる働きやすい環境を整えることで、店舗管理者における女性の割合を増やす。	指標 (KPI)	女性管理者の割合	指標
社会	〇		目標値		社会 (1) ③
環境			2030年 (その他の場合) ( )年	30%	
経済	〇	当社主催での「介護相談無料セミナー＆相談窓口」「認知症予防について」「介護施設の選び方」等の企画を行い、取引業者・団体・地域住民・教育機関等への出張型研修もしくはオンラインセミナーを開催する事で、社会課題（老老介護、独居高齢者、介護離職、ヤングケアラー）の解決を目指します。	指標 (KPI)	地域貢献セミナー	指標
社会	〇		目標値		社会 (3) ①
環境	〇		2023年 (その他の場合) ( )年	3回	

## 記載について

- 「SDGs 達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。  
(1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません)
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

## 地域課題への取組み

団 体 名 株式会社ウチヤマホールディングス

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
9 北九州マラソン事業 (ボランティア活動)	給水所のボランティアに企業グループとして毎年登録し、社員が沿道で給水対応しながら市民ランナーに声援を送っています。
12 いのちをつなぐネットワーク事業	各事業を通じて地域の方々の喜びや生きがいづくりを実践し、人々の尊厳をお守りすることを目指しています。
14 「北九州市における子ども食堂の支援に向けた取組に関する協定」の締結	親会社の(株)ウチヤマホールディングスが2018年6月より実施している北九州市内2カ所(富野・足立)の子ども食堂に当社の介護施設で働く職員が見守り・調理スタッフのボランティアとして参加しています。時には介護施設のご入居者様も参加され、子どもから高齢者まで様々な人たちとのコミュニティづくりに取り組んでいます。
99 その他(市と連携した取組み)	産学官連携において、①【九州工業大学・】⇒10年後20年後の未来を想像し介護に、ICT・IoTの技術を用い業務効率化の実現を図り、介護業界の更なる発展と介護を通じた社会貢献への取組み、②【九州歯科大学・公益財団法人北九州産業学術推進機構】⇒高齢者支援学講座と口腔ケア認定士制度創設への取組み、③【九州大学】⇒介護施設入居者の「生活の質向上」に向けて、対話型で可視化していくツールの開発・運用に取り組んでいます。

### 記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの(今後取り組むもの)を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。